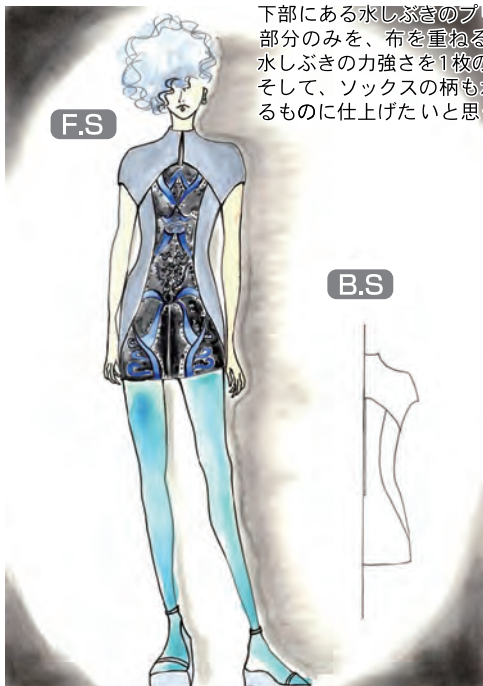
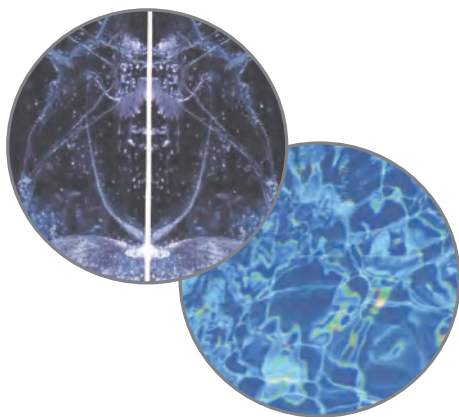


## 製作にあたって

下部にある水しぶきのプリントを光沢感のある布にプリントし、水しぶきの部分のみを、布を重ねるのではなく、布自体を立体的に浮き上がらせて、水しぶきの力強さを1枚の布というキャンバスで表現してみたいと思います。そして、ソックスの柄も水面のイメージをプリントし、所々絞って特徴のあるものに仕上げたいと思っています。



## イメージ



■タイトル Spray.

■混用率 Ac50 Pe40 W6 Pu4

## 当初のイメージとの比較

当初のイメージは、柄の生地をシンメトリーに大きくもってくるというものがあったので、完成したテキスタイルでは1つの柄を3色作って頂いたため、色々組み合わせることができ、良い意味でデザインを変更できて良かったと思います。

## 新たな発見や学んだ点、苦労した点

実際にデザインしたものを生産するとなると、費用面も考えていかなければいけないので、その面がいつもと違っていたので、勉強になりました。糸の種類や織り方等知らないことばかりだったので、実際に体験することができて良かったです。

## ゲームメント製作に向けて

作って頂いたテキスタイルを最大限に活かしていい作品を作りたいと思います。

## F.S

## B.S

## イメージ



## 製作にあたって

テーマを「未来への飛躍」にしました。そして核融合科学研究所というところからインスピレーションしました。核融合科学研究所とは原発事故でも有名な核の研究所です。それをファッションにし着るということが、この悲しい事実を受け止め反省し、次に生かしたということであり、人間にとっての飛躍だと思ったからです。イメージとしては近未来の衣服としています。そしてポリエステルにポリウレタンを混紡した生地の肉感を生かし、床版のようなハリ感の風合いのある生地を作りたいです。そしてその生地を使って核融合科学研究所のパイプをデフォルメしたものを表現したいです。

## 当初のイメージとの比較

当初から講師の方とより完成に近いイメージをお話できたのであまり変わらないのですが、角度で見えてくる柄等仕上がってよりハッキリと出て、生地としての面白さが出たと思います。

## 新たな発見や学んだ点、苦労した点

柄をもっとまばらにしようと思ったのですが、ジャカードの針本数の関係により均一になってしまいました。自分がイメージしているものよりもう少しいいことがありますが、講師の方がうまく、より私のイメージに近くしてくれました。最後の加工で重厚感が出せました。

## ゲームメント製作に向けて

今回製作したテキスタイルのイメージをくずさないで、より引き立つように製作したいです。

■タイトル 未来への飛躍

■混用率 R53 Pe47



## 製作にあたって

イメージは“たんぽぽの綿毛”です。綿毛の柔らかさ、ふわふわ感をテキスタイルに落としていきたいと思っています。糸は、服にギャザーをたくさん入れたいと思っているので、ギャザーが上手に入るような生地仕上がる糸が良いです。手法は、綿毛の部分に少し凸凹を出したいと思っています。仕上がりは、柔らかさ・ふわふわ感が見て、触って、わかるようになれば良いと思います。

## イメージ

B.S



## 当初のイメージとの比較

織物では円形の柄は織ることができないので、綿毛の部分がどのように仕上がるのか不安でしたが、カール糸を使用したので、あまり気にならず、イメージ通り仕上がりました。

## 新たな発見や学んだ点、苦労した点

たくさんの工場を見学させていただいて、テキスタイルの製作の流れを学ぶことができました。

## ガーメント製作に向けて

テキスタイルの柄を活かせるように製作したいと思います。

■タイトル WATAGE  
■混用率 C65 R30 N5

F.S



## 製作にあたって

プレゼントのイメージを布に落とし込もうと考えました。プレゼントを渡す時、ラッピングをしますが、そのラッピングはプレゼントをきれいに着飾り相手のことを思ってラッピングすると思います。私はその相手を思う温かい気持ちとキラキラしたラッピングを布に落とし込みたいと思います。そして、そのプレゼントをもらう側のうれしい気持ちと、キラキラした期待の気持ちも表現したいと思います。布は実際に、サテンのリボンを織り込もうと考えています。地は子供の素直さを表現したいので、麻で素材を仕上げたいです。そして、ここにツイードなどで見られる、カラフルなチップを織り込みたいです。

B.S



## イメージ



## 当初のイメージとの比較

デザイン画のイメージ通りに仕上がりました。風合い、肌ざわりも、気持ちよく満足です。

## 新たな発見や学んだ点、苦労した点

やはり工場を見るということは、とても大切なことだと思いました。自分で工場を見学して、初めて知ったことも多かったです。今回、私の作った布はネップヤーンが経糸に使われているのですが、そのために織り工程で、シャトルが引っかかるというハプニングもあり…。本当に作ってみたいと体験できないことばかりでした。

## ガーメント製作に向けて

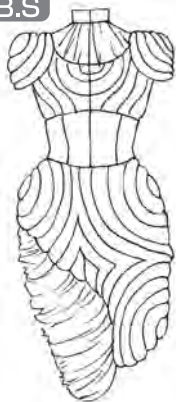
たくさんの方に携わって頂きできた生地なので、大切に使いしていきたいと思っています。生地の特徴を最大限に活かすことができるよう、ガーメント製作も頑張りたいと思います。

■タイトル Wrapping  
■混用率 Li93 Ac3 N2 R2

F.S



B.S



イメージ



## 製作にあたって

屋久島の縄文杉のように地に深く根をはって生えている大樹のイメージで制作します。表皮のボコボコとしたところや、年輪のような模様をコーデュロイのようなうねのある感じで表現したいです。毛足があって温かみを感じられるようなものにしたいと思います。色も木の表皮を感じさせるような濃い茶色から薄いベージュのグラデーションでムラのある感じで表現したいです。タックを寄せて木目を表現したり、プリントで柄を表現したりすることはよくあると思いますが、そうではなくて1枚の生地で木の表皮を感じさせるようなものにしたいと考えています。ガーメントを制作する際は草木染めにした生地と組み合わせ、”木の女神”を表現したいと思います。

## 当初のイメージとの比較

当初はコーデュロイのような生地を予定していたのですが、生地見本を見て、私のイメージする木の表皮にぴったりのもを見つけました。コケの感じなどを表現するために、緑やベージュの糸を混ぜました。イメージするものができたと思っています。

## 新たな発見や学んだ点、苦労した点

編機や、カスリ染めをしていただけるよう工場を探すのに苦労されたそうで、とても講師の方に感謝しています。

## ガーメント製作に向けて

当初はニット生地の予定ではなかったので、ガーメント製作時には、色々難しい点も出てくると思いますが、頑張りたいと思います。デザイン画よりもリアルクローズよりなものを製作したいと思います。

■タイトル 大樹の温もり

■混用率 W63 Ag15 N12 R9 Pu1



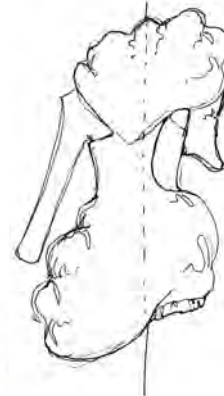
## 製作にあたって

服をデザインすることや制作するにあたり注目している技法があります。それはキルトワークです。生地と生地の間に綿を引き、上から格子状にステッチでたたいてあるものがキルト生地ですが、キルトはそれだけでなく生地を切りかえて作ったり、綿の分量や幅を変化させたりすることもできる。そんなキルトを自然なイメージと結びつけ、毛織物が有名である尾州産地ということで“毛”をおりませたテキスタイルを制作してみたいと思っています。和紙のように毛糸の繊維が見えるくらいの柔らかい雰囲気でありながら生地としてはしっかりしたテキスタイルであるということ。麻などのイメージにも近い。糸は細いものと太い番手の糸を混ぜたようなものの中に毛をおりませて表情を出すイメージです。少し毛羽立ちがあり、温かみのあるテキスタイルを作ることができればと思います。

F.S



B.S



イメージ



## 当初のイメージとの比較

当初、私がイメージして持参したテキスタイルは、厚みや軽さかたさなどデザインに対し不釣合いな点が多かった所を、匠の方々が改善、発展させて、素晴らしいテキスタイルを製作していただきました。軽めでいて少しハリ感のある、そして表情のあるテキスタイルになりました。

## 新たな発見や学んだ点、苦労した点

自分のイメージを伝えること、全く知らなかった素材づくりのことを学ぶことは難しいことでしたが、とても楽しかったです。新たに学んだことについては、翔工房で教わったこと、見学したこと、そのほとんどで、自分の中でテキスタイルの想像が広がりました。

## ガーメント製作に向けて

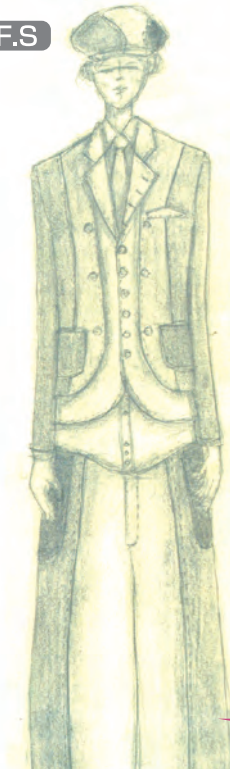
匠の意思を受け継ぎ、イメージ通り、それ以上のガーメントが製作できるよう頑張りたいと思います。限られた、私のデザインのためのテキスタイルを大切に扱うと同時に、大胆にテキスタイルの良さとデザインをアピールできる作品を製作しようと考えています。

■タイトル 殻

■混用率 W67 C33



F.S



製作にあたって

糸、手法、仕上げ加工などの詳しい知識はありませんが、尾州のウールの織物を使用したいと思っています。スーツ地で厚めの素材が使い古されて柔らかくなってきたような、着古したような質感を表現したいと思っています。

B.S



イメージ



当初のイメージとの比較

尾州らしいウールのイメージで製作しました。ストレッチ加工のおかげで、イメージよりも柔らかくしなやかな生地に仕上がりました。

新たな発見や学んだ点、苦労した点

ヴィンテージ加工やカシ米尔加工等、同じ織機で織られた布地でも、加工の方法で全く違った仕上がりになることが勉強になりました。素材の知識や出したい雰囲気の追求に苦労しました。

ガーメント製作に向けて

匠の講師の方と二人三脚で作った布地をよりよい作品へと近づけていきたいです。

■タイトル ストレッチカラー ネットヘリンボーン  
■混用率 W60 N20 Pe10 Ag5 Ac4 Pu1

F.S



製作にあたって

レース柄のテキスタイル。一見レースに見えるが、よく見たらレースではなく模様になっている。もちろん素材はウール100%です。できる限り、薄く柔らかくして「優しい」イメージを表現します。模様はジャカードで作るか、土台のテキスタイルの上に別のテキスタイルで作った模様をのせていくという方法を考えています。

B.S



イメージ



当初のイメージとの比較

最初のイメージとは正直異なります。しかし、可能な範囲で、より素晴らしいテキスタイルになりました。

新たな発見や学んだ点、苦労した点

色の映え方を良くするためにはどうしたらいいのか、デザインとテキスタイルが深く関係しているということを学びました。自分のイメージを伝えることに苦労しました。

ガーメント製作に向けて

世界に一つだけのテキスタイルなので、世界に一つだけの誰にも真似できないような作品を作ります。

■タイトル クールフェミニン  
■混用率 Ap50 W50

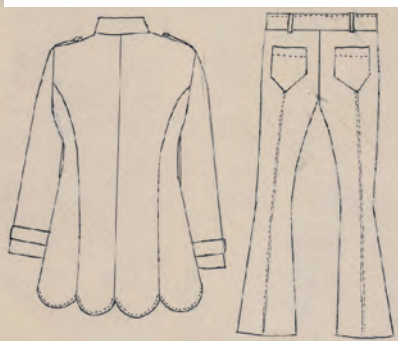
F.S



## 製作にあたって

私はチェック柄が好きです。さまざまな柄が存在していますが、配色の仕方やチェックの大きさによってかなりイメージが変わってくることをチェック柄の魅力だと思います。普段着ている服や小物などにも取り入れたらして、私にとっても身近な柄です。そして今回学校の卒業研究でチェック柄を取り上げることにしました。そこで作品を作るにあたり、お店で売られているものではなく、オリジナルのテキスタイルを使用したいと思いました。新しいチェック柄の考案をして、「チェック」と「ボーダー」2種類の柄をミックスさせた生地を作りたいです。

B.S



イメージ



## ■タイトル 新しいチェック柄

■混用率 W100

## 当初のイメージとの比較

自分が考えて、データとして持っていたものとほぼ同じものが出来上がりました。ウール100%で作っていただきましたが、他のものと混紡させても良かったかな、という思いが湧きました。

### 新たな発見や学んだ点、苦労した点

色選びや素材選びをし、実際に織り上がるまではどんなものが出来上がるかは分からないので、それぞれ想像しながら製作するのは楽しくもあり、難しかったです。チェック柄の配色を考えるのにとっても苦労しました。

## ゲーム制作に向けて

チェックとボーダーがミックスされた生地なので、それをうまく活かしたものを作りたいです。